

○事業所名	放課後等デイサービス りあきっず neo		
○保護者評価実施期間	令和8 年 1月 20日		～ 令和8 年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和8 年 2月 1日		～ 令和8 年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からお子様の現状や様子について保護者と伝え合い、共通理解をもっていること。 アットホームな環境で療育をすることが出来ていること。	送迎時の申し送りに加え、必要に応じて連絡ノート等も活用し、お子様の様子について伝え合う機会を設けている。 放課後をゆったり安心して過ごせるような雰囲気で見守っている。	これまで以上に密な連携を心がけ、小さな変化にも気づいていける関係性を気づいていきたい。
2	活動プログラムが固定化されないように工夫しているところ。	参加するお子様の興味・関心に合わせた内容へ調整したり、活動後は見直し、改善を行いながら内容が固定化されないようにしている。	お子様一人ひとりに対するヒアリングも行っている。流行等も取り入れた活動プログラムを提供していきたい。
3	集団活動の前に個別療育の時間を設け、宿題や学習を行っている。一人ひとりの状況把握が出来ており、現状に合わせた支援を行っているところ。	学校での取り組みや宿題の状況に合わせて、復習も行っている。勉強自体をマイナスに捉えることのないように促し方や言葉かけにも工夫している。	個別での関わりの中で、お子様の強みや好きなことを見つけ、自信に繋げていけるような支援を行ってきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流など、地域に向けた事業所運営ができていない。 ・第三者委員会など外部機関との密な連携が不足している。	・地域との交流はどのように進めていけばいいのかが方法が難しい。 ・外部機関との密な連携を取っていきける手段が難しい。	・市や公的な団体へ方法の助言を聞くなどの取り組みをしていきたい。
2	・ご家族に対してペアレントトレーニングや、ご家族向けの研修棟が出来ていない状況。 ・保護者会の開催もまだ1度しか行うことができておらず、保護者同士の交流できる場を作ることが出来ていない。	・事業所内でペアレントトレーニングを実施しようとすると職員の技術と人員増員が必要となる。現時点ではお子様方の療育をしっかりと行うことにマンパワーがすべて取られている。 ・保護者間での交流を実現するにはマンパワーも多く必要となる。	・ペアレントトレーニングが出来ると期待している。 ・安全に保護者間交流が出来る体制づくりを考えていきたい。
3	研修の時間や会議の時間をもっと多く取ってほしいが、職員が少ない部分もあり職員全員での研修等が難しい。	職員がまだ不足している部分もあり、職員全員での時間の確保が難しい状況。	同じ研修を個々に受けられる体制をつくり、スムーズに研修を行っていきけるようにしていきたい。